

Q：人として一番大事なことは、いったい何だろうか？

ヨハネによる福音書 2章 23～25 節

「イエス御自身は・・・信用されなかった」

A：信頼しうる人間になることだと思う。

この自分なら そうなれるかも・・・。

右目でしっかり 世の中を見て、左目でちゃっかり ^{きみ}君も見ている。

——『いちごんぜっく』より



教会もまた、過ちを犯す。

（古代の偉大な神学者）アウグスティヌスもまた、過ちを犯す。

そして、私もまた（過ちを犯す）。私もまた、信用できない人間だ。

マルティン・ルター

1483～1546年

元・カトリックの修道士、神学者。

宗教改革の中心人物で、プロテスタント教会誕生のきっかけをつくった。

しるしを見て、多くの人がイエスの名を信じた。(2:23)

しかし、イエス御自身は彼らを信用されなかった。(2:24)

すべての人のことを知っておられ・・・

何が人間の心の中にあるかをよく知っておられた(からである)。(2:24、25)



まだどこかに、真実な人がいるかもしれない。

(主イエスに出会った青年の言葉)



「イエスを訪ねるニコデモ」ヘンリー・オサワ・タナー

神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛された。

独り子を信じる者が一人も滅びないで、永遠の命を得るためである。(3:16)

神が御子を世に遣わされたのは、世を裁くためではなく、

御子によって世が救われるためである。(3:17)

ミルク飲みの信仰。(ルター)

見たから信じたのか。見ないのに信じる人は、幸いである。(20:29)